

## 目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～2
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 2
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3
- ★ 全数把握感染症集計表 P 4
- ★ 定点把握感染症集計表 P 5～9
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 10～14
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 15～18
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 19～20
- ★ 新型コロナウイルスのPCR検査等の状況 P 21
- ★ 南半球オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況 P 22
- ★ 日本の季節性インフルエンザの流行状況 P 23



# 発生動向総覧

《第25週コメント》 6月30日集計分

## ◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（2）、富士（3）、静岡市（3））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 重症熱性血小板減少症候群（浜松市（1））、レジオネラ症（静岡市（2））
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（浜松市（1））、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（浜松市（1））、梅毒（富士（1）、静岡市（1））

## 新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（15）、熱海（27）、東部（275）、御殿場（82）、富士（141）、静岡市（341）、中部（129）、西部（206）、浜松市（536））

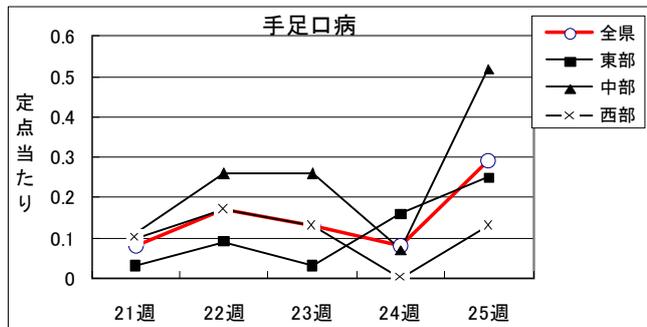
## ◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所  
感染症情報センター

令和4年第25週(6/20～6/26)の動向

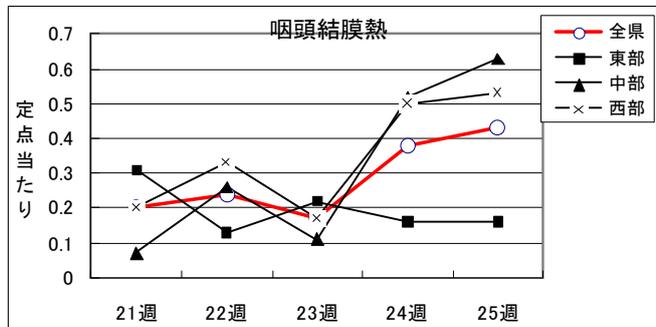
### 手足口病

全県で罹患数26、定点当たり0.29の患者発生あり、県全体では前週から大幅に増加。県下全域で増加しているが、特に中部地区が顕著。東部地区で定点当たり0.25、中部地区で定点当たり0.52、西部地区で定点当たり0.13の患者発生報告。



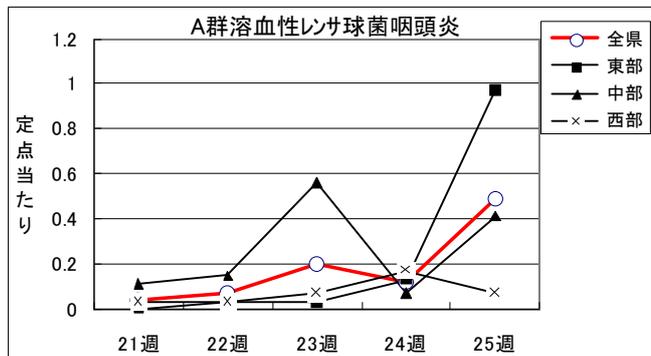
### 咽頭結膜熱

全県で罹患数38、定点当たりの0.43の患者発生あり、県全体では前週から増加。東部地区でのみ横ばい。東部地区で定点当たり0.16、中部地区で定点当たり0.63、西部地区で定点当たり0.53の患者発生あり。24週から連続して発患者数増加し、流行期が示唆される。



### A群溶血性レンサ球菌

全県で罹患数44、定点当たり0.49の患者発生あり、全県では著しく増加、西部地区のみ減少。特に東部及び中部地区の増加が顕著であったために全県的には増加に転じた。東部地区で定点当たり0.97、中部地区で定点当たり0.41、西部地区で0.07の患者発生あり。







## 指定届出機関からの特記事項欄コメント

### 感染症第25週（6月20日～6月26日）

光ヶ丘小児科（三島市）「RSウイルス 1名、咽頭アデノウイルス 1名、腸管アデノウイルス 1名」

窪田医院（三島市）「ヒトメタニューモウイルス 2名（5歳男児1名、6歳男児1名）」

安田内科小児科医院（御殿場市）「ノロウイルス 1名」

かどたこどもクリニック（静岡市）「ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1名（3歳男児）」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 3名」

幸田子供クリニック（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 4名」

天竜こども病院（浜松市）「アデノウイルス咽頭炎 3名」

- ・ 静岡県の感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。
- ・ 引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

2022年 25 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		20週	21週	22週	23週	24週	今週	年累計	22週	23週	24週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		1	15	2	8	5	8	170	234	237	274	268	6,999
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		6,673	4,605	3,199	2,143	1,644	1,752	151,312	138,868	108,950	98,245	102,766	7,505,323
コレラ													
細菌性赤痢								1	1			1	13
腸管出血性大腸菌感染症			3	1	1	2		10	61	62	81	80	840
腸チフス													8
パラチフス												1	3
E型肝炎									7	11	8	8	223
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎					1			1	4	3	4	2	44
エキノコックス症												1	14
糞熱													
オウム病													4
オムスタ出血熱													
回帰熱													6
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群							1	3	5	5	3	5	60
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱												1	1
つつが虫病								1	4	4	3	1	91
デング熱								1	1			1	14
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱					1	1		2	9	8	17	11	116
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													1
マラリア										1	2		9
野兔病													
ライム病												1	3
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													1
レジオネラ症		2	6			1	2	24	41	46	52	48	774
レプトスピラ症									1		1		3
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢								5	9	8	5	6	240
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								1	1	2	6	3	103
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						2	1	16	32	21	23	29	762
急性弛緩性麻痺								1			2		11
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1		1		6	7	6	7	5	142
クリプトスポリジウム症												2	5
クロイツフェルト・ヤコブ病								3	2	2	6	1	87
劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	1	6	10	10	11	9	357
後天性免疫不全症候群						1		7	8	7	14	17	432
ジアルジア症											1		15
優勢性インフルエンザ菌感染症								3	2	1	1	3	88
優勢性髄膜炎菌感染症													4
優勢性肺炎球菌感染症								21	27	16	11	18	620
水痘(入院例に限る)								6	3	4	6	4	157
先天性風しん症候群													
梅毒		2	6	3	6	1	2	111	159	159	167	136	5,283
播種性クリプトコックス症				1				1	2	2	3	1	70
破傷風								2	2	4			37
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1		1		13	2	2	4		72
百日咳								2	5	4	11	8	263
風しん												1	3
麻疹													1
薬剤耐性アシネトバクター感染症													3
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

## 定点把握感染症集計表(届出数)

2022年 25 週

	静岡県							全国				
	20週	21週	22週	23週	24週	今週	計	22週	23週	24週	今週	計
RSウイルス感染症	15	26	11	7	18	14	91	695	838	1,346	1,828	4,707
咽頭結膜熱	9	18	21	15	34	38	135	1,141	1,311	1,301	1,339	5,092
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	4	6	18	11	44	111	1,090	1,087	1,169	1,089	4,435
感染性胃腸炎	398	402	382	380	473	404	2,439	16,759	17,049	17,970	16,675	68,453
水痘	4	4	5	8	5	1	27	273	251	259	260	1,043
手足口病	2	7	15	12	7	26	69	742	807	1,131	1,881	4,561
伝染性紅斑	1		1		2	1	5	41	26	41	45	153
突発性発しん	35	30	35	24	30	34	188	1,302	1,285	1,202	1,265	5,054
ヘルパンギーナ	3		4	1	4	10	22	123	166	251	451	991
流行性耳下腺炎	7	5	5	5	2	4	28	128	127	102	114	471
インフルエンザ								2	7	6	6	21
急性出血性結膜炎								2	1	11	2	16
流行性角結膜炎	3	6	6	4	2	2	23	136	148	133	123	540
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1				1
細菌性髄膜炎						1	1	5	5	5	9	24
マイコプラズマ肺炎		1					1	8	8	7	8	31
無菌性髄膜炎		1					1	5	10	10	12	37
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)											1	1

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

## 定点把握感染症集計表(定点当り)

2022年 25 週

	静岡県						全国			
	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	今週	第22週	第23週	第24週	今週
RSウイルス感染症	0.17	0.29	0.12	0.08	0.20	0.16	0.22	0.27	0.43	0.58
咽頭結膜熱	0.10	0.20	0.24	0.17	0.38	0.43	0.36	0.42	0.41	0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.04	0.07	0.20	0.12	0.49	0.35	0.35	0.37	0.35
感染性胃腸炎	4.47	4.52	4.29	4.27	5.31	4.54	5.32	5.42	5.72	5.31
水痘	0.04	0.04	0.06	0.09	0.06	0.01	0.09	0.08	0.08	0.08
手足口病	0.02	0.08	0.17	0.13	0.08	0.29	0.24	0.26	0.36	0.60
伝染性紅斑	0.01		0.00		0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.39	0.34	0.39	0.27	0.34	0.38	0.41	0.41	0.38	0.40
ヘルパンギーナ	0.03		0.04	0.01	0.04	0.11	0.04	0.05	0.08	0.14
流行性耳下腺炎	0.08	0.06	0.06	0.06	0.02	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04
インフルエンザ										
急性出血性結膜炎									0.02	
流行性角結膜炎	0.14	0.27	0.27	0.18	0.09	0.09	0.20	0.21	0.19	0.18
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎						0.10	0.01	0.01	0.01	0.02
マイコプラズマ肺炎		0.10					0.02	0.02	0.01	0.02
無菌性髄膜炎		0.10					0.01	0.02	0.02	0.03
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)										

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 25 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	14	0.16	38	0.43	44	0.49	404	4.54	1	0.01
賀茂			1	0.50			4	2.00		
熱海	1	0.25					38	9.50		
東部	8	0.62	2	0.15	29	2.23	20	1.54	1	0.08
御殿場			2	0.50	1	0.25	18	4.50		
富士					1	0.11	13	1.44		
静岡市	1	0.06	15	0.94	6	0.38	75	4.69		
中部	1	0.09	2	0.18	5	0.45	85	7.73		
西部			7	0.58			59	4.92		
浜松市	3	0.17	9	0.50	2	0.11	92	5.11		

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	26	0.29	1	0.01	34	0.38			10	0.11
賀茂										
熱海					1	0.25				
東部	1	0.08	1	0.08	6	0.46			1	0.08
御殿場										
富士	7	0.78			6	0.67				
静岡市	3	0.19			5	0.31				
中部	11	1.00			4	0.36			9	0.82
西部	2	0.17			2	0.17				
浜松市	2	0.11			10	0.56				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	4	0.04	0		0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海	1	0.25							4	2
東部									13	7
御殿場	1	0.25							4	2
富士									9	6
静岡市	1	0.06							16	9
中部									11	6
西部									12	7
浜松市	1	0.06							18	10

\*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 25 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			2	0.09			1	0.10		
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士										
静岡市			1	0.20						
中部										
西部			1	0.25						
浜松市							1	0.50		

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数				
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	7
—	
—	
4	1
—	
3	1
5	2
3	
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

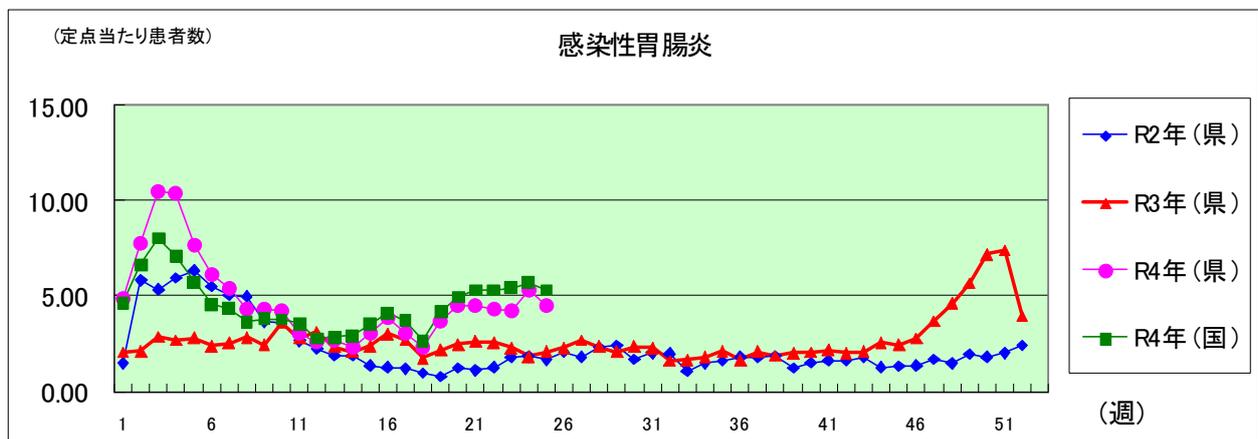
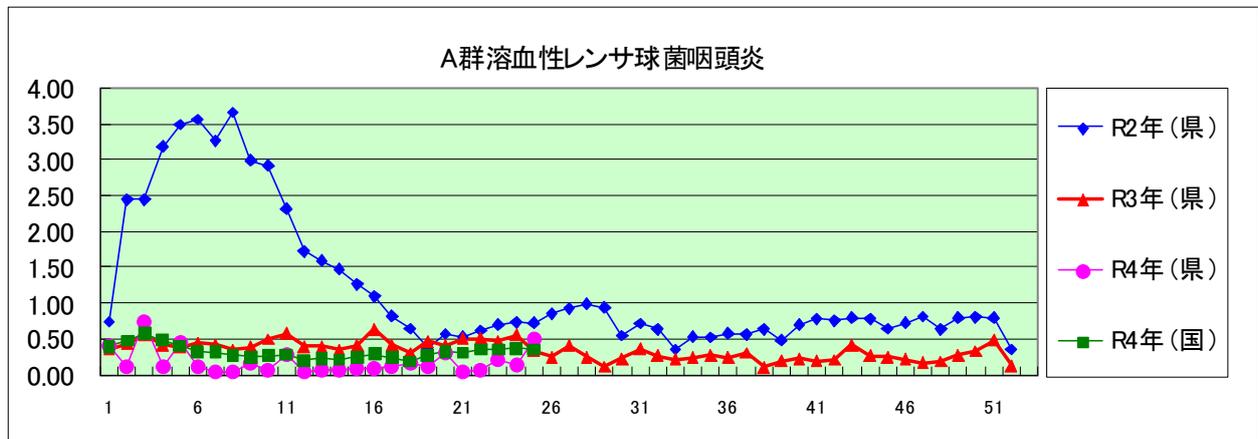
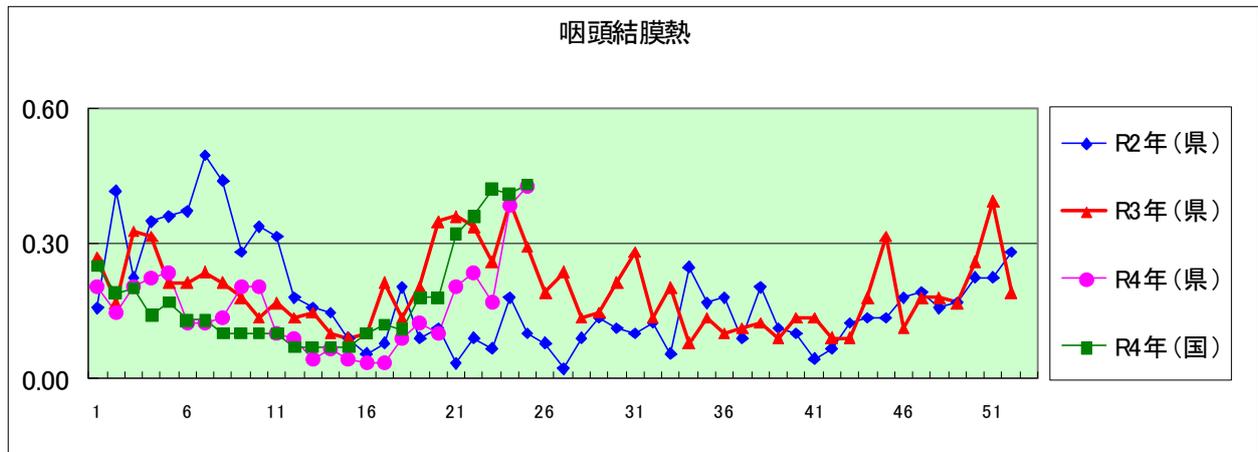
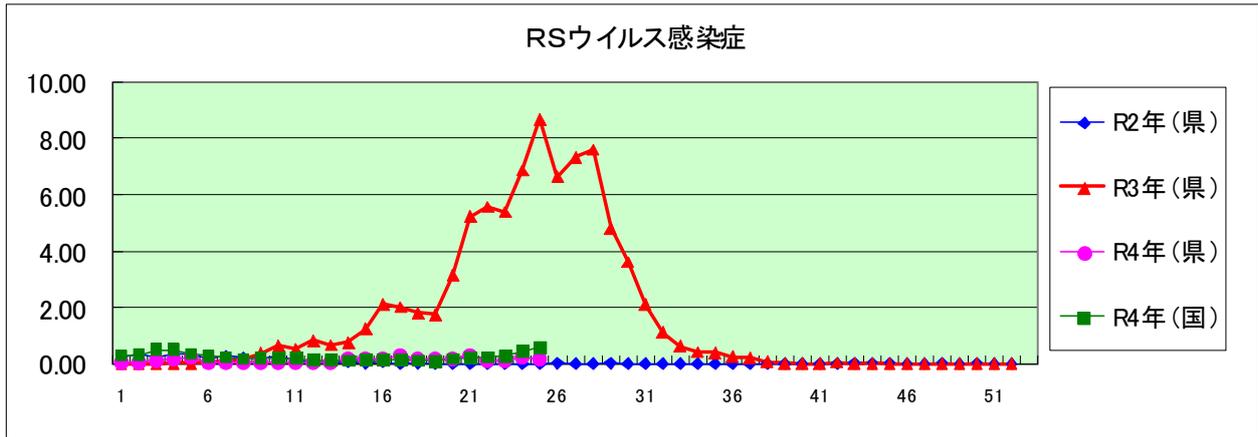
2022年 25 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	2	2	4	3		1	2														14
咽頭結膜炎		4	20	5	2	5		1		1											38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	1	3	3	5	5	5		3	10		1							44
感染性胃腸炎	1	30	69	54	57	41	36	17	16	13	13	36	2	19							404
水痘		1																			1
手足口病		3	15	5	2	1															26
伝染性紅斑				1																	1
突発性発しん		10	18	3	1		1	1													34
ヘルパンギーナ			6	2	2																10
流行性耳下腺炎								1		1		2									4
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎														1			1				2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎										1											1
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

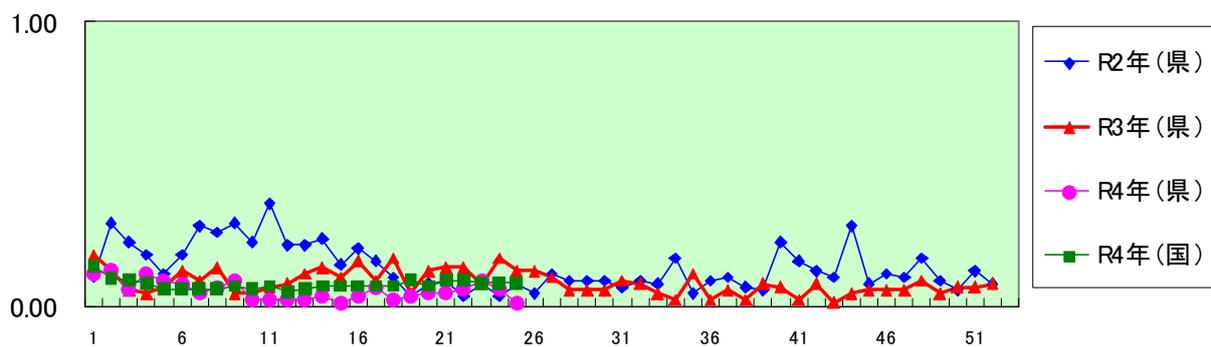
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 25 週

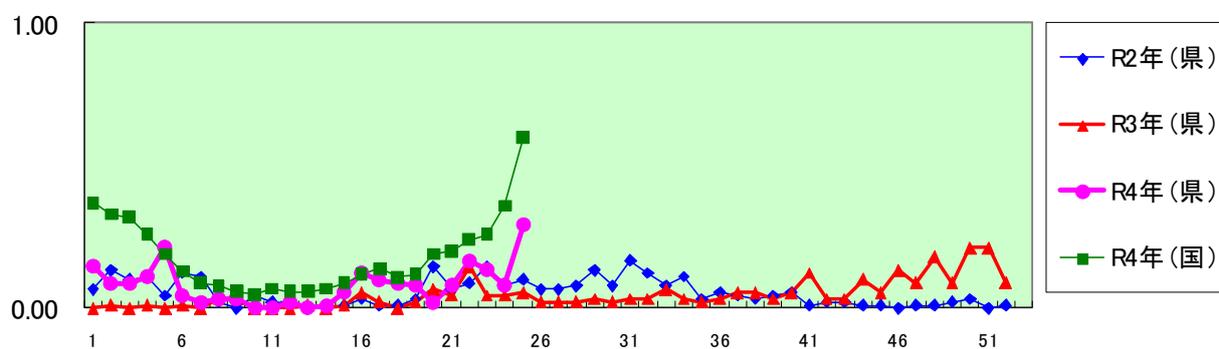
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.02	0.02	0.04	0.03		0.01	0.02														0.16
咽頭結膜炎		0.04	0.22	0.06	0.02	0.06		0.01		0.01											0.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.09	0.01	0.03	0.03	0.06	0.06	0.06		0.03	0.11		0.01							0.49
感染性胃腸炎	0.01	0.34	0.78	0.61	0.64	0.46	0.40	0.19	0.18	0.15	0.15	0.40	0.02	0.21							4.54
水痘		0.01																			0.01
手足口病		0.03	0.17	0.06	0.02	0.01															0.29
伝染性紅斑				0.01																	0.01
突発性発しん		0.11	0.20	0.03	0.01		0.01	0.01													0.38
ヘルパンギーナ			0.07	0.02	0.02																0.11
流行性耳下腺炎								0.01		0.01		0.02									0.04
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎														0.05			0.05				0.09
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎										0.10											0.10
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



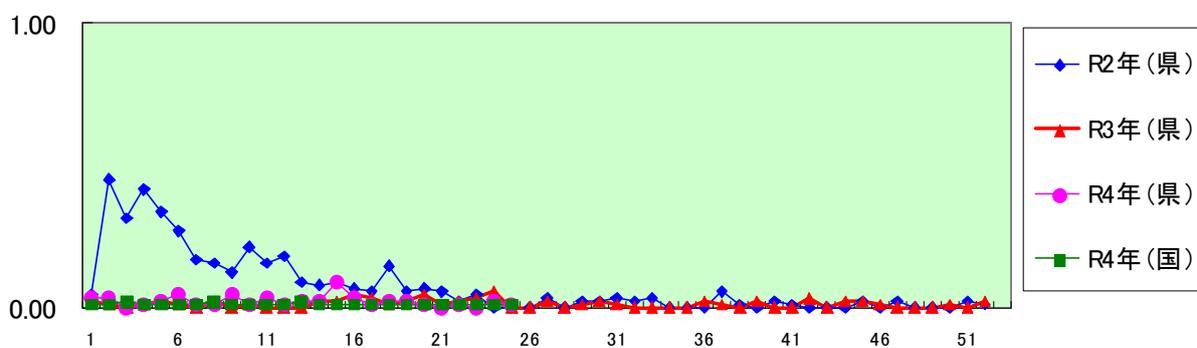
### 水痘



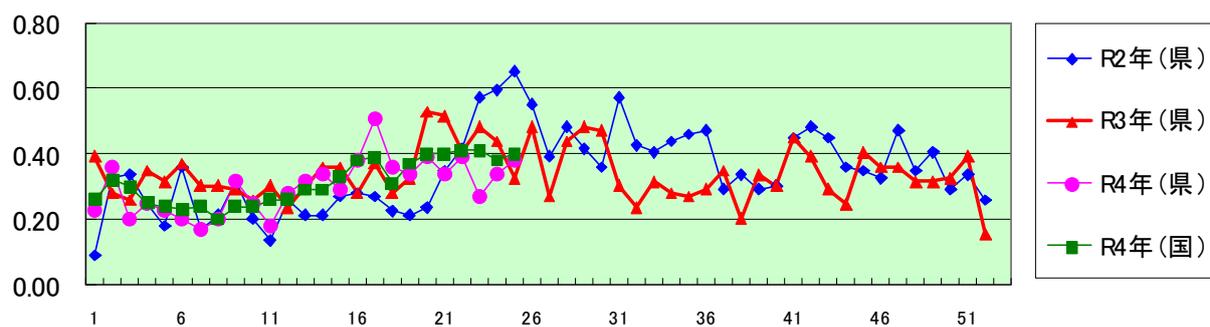
### 手足口病



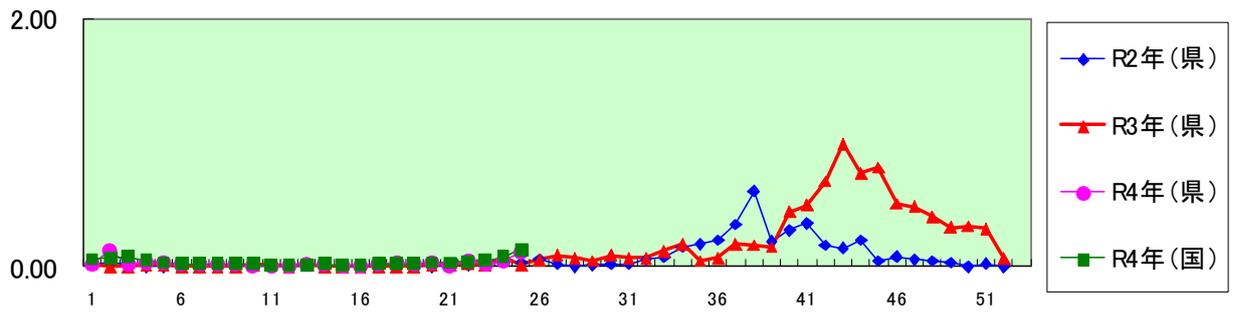
### 伝染性紅斑



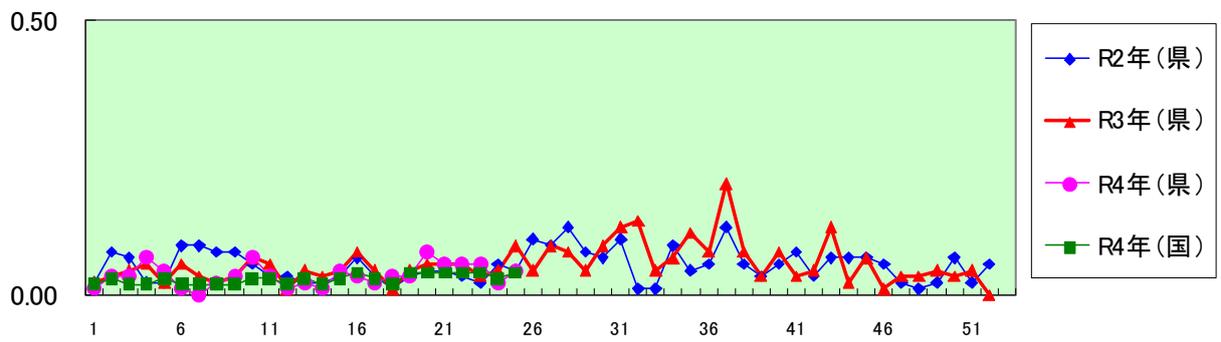
### 突発性発しん



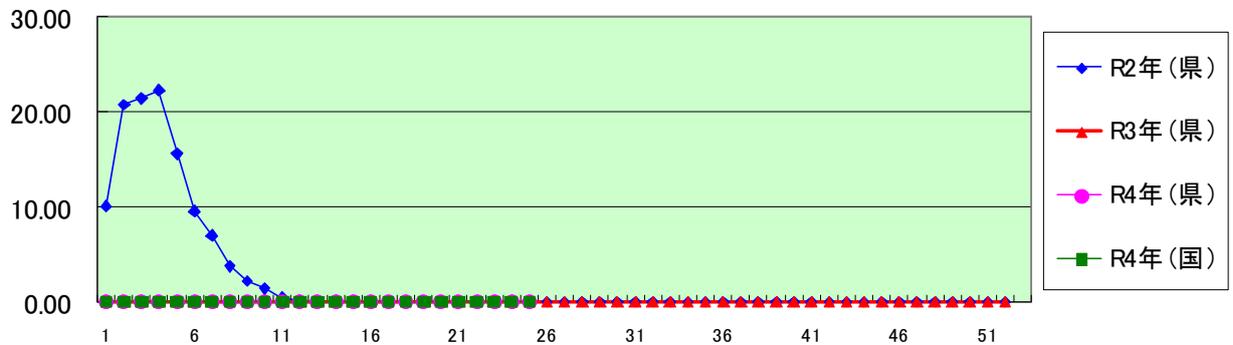
### ヘルパンギーナ

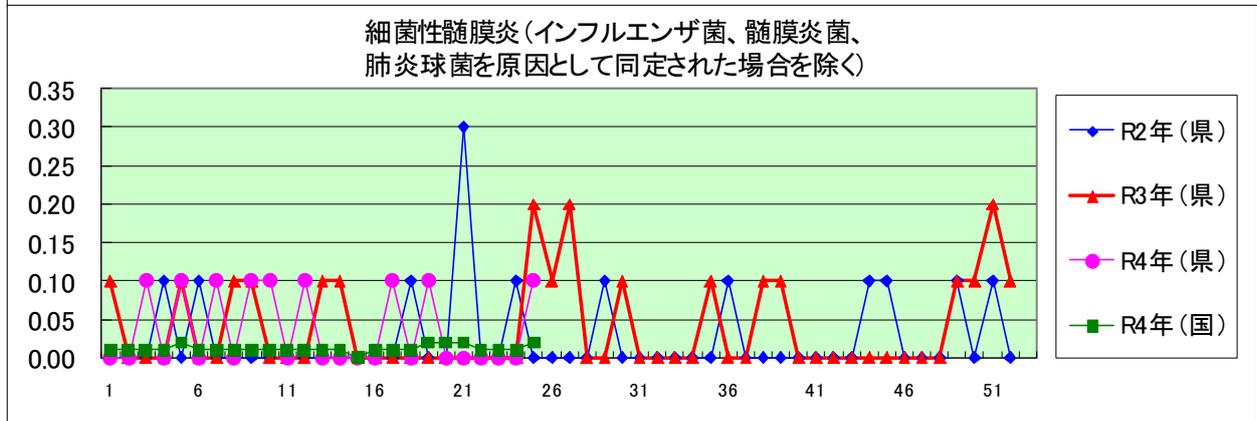
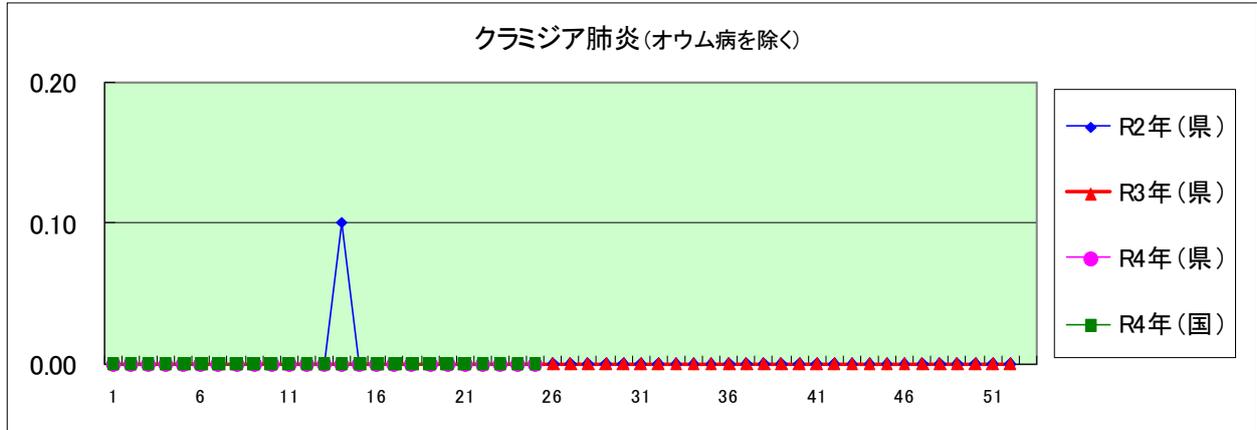
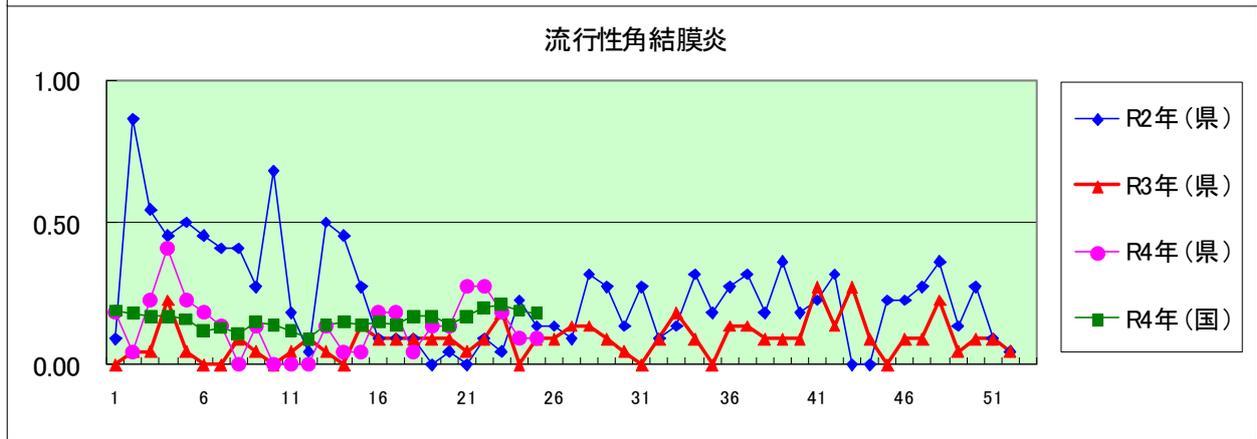
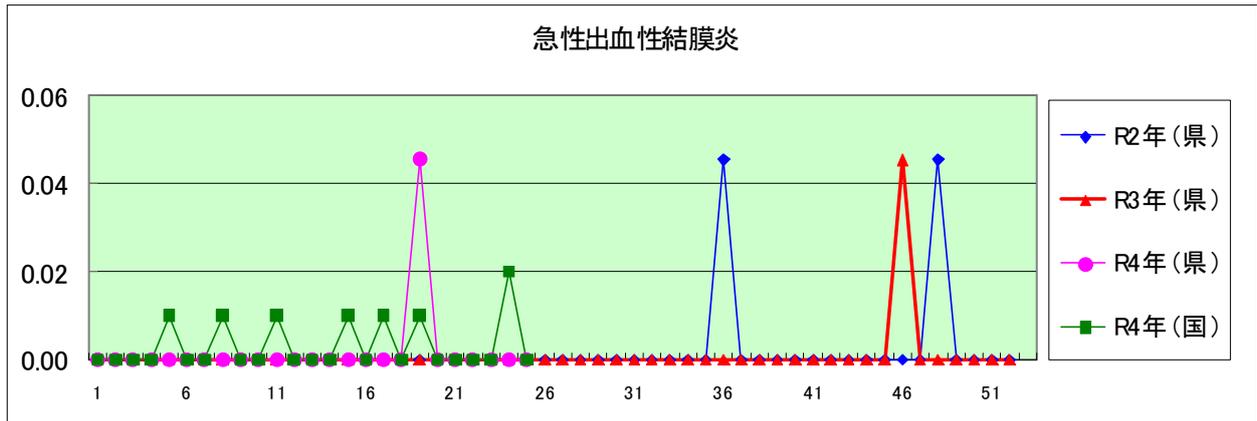


### 流行性耳下腺炎

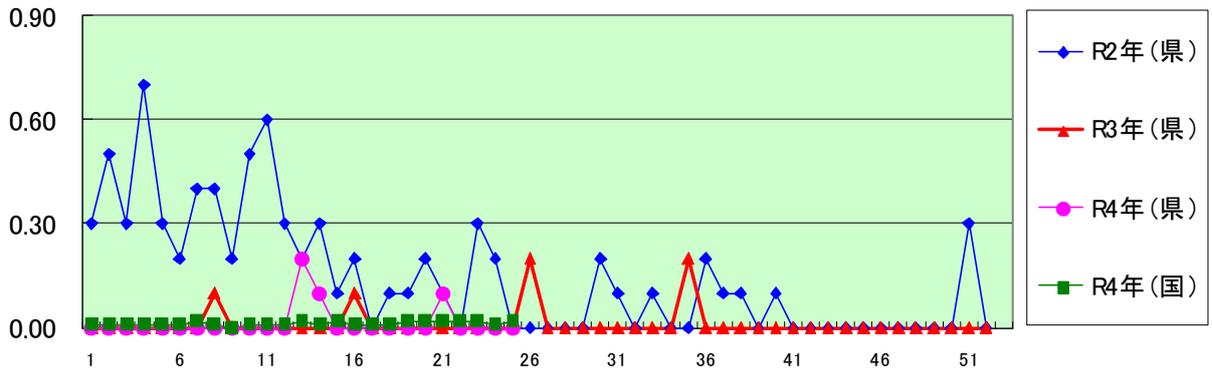


### インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)

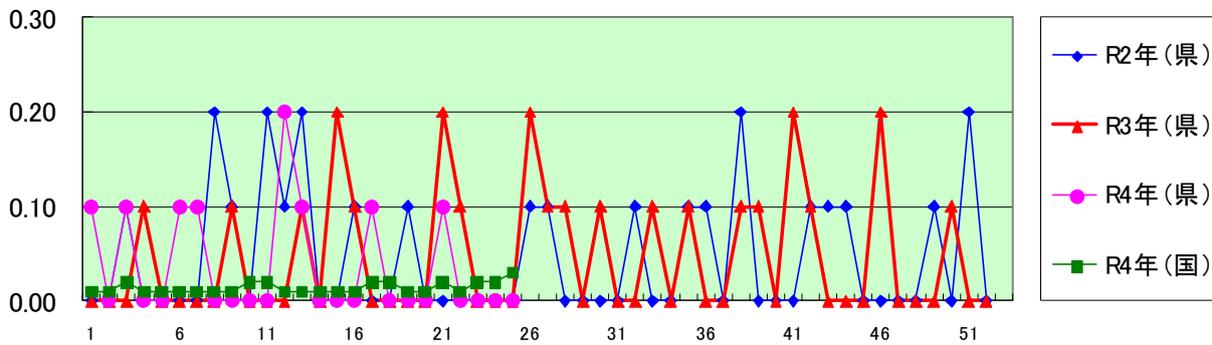




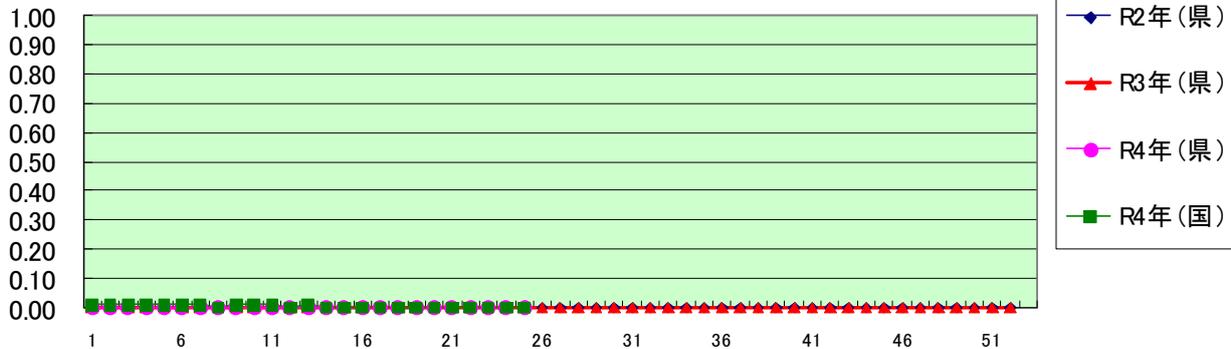
### マイコプラズマ肺炎



### 無菌性髄膜炎



### 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

## 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2022年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	52	37	55	54	38	61	297	2,201	2,461	2,342	2,533	9,537
性器ヘルペスウイルス感染症	17	18	13	18	9	20	95	616	710	746	731	2,803
尖圭コンジローマ	7	11	8	5	7	5	43	376	455	456	520	1,807
淋菌感染症	12	19	8	10	5	6	60	684	794	791	833	3,102
性器クラミジア感染症(男)	21	16	20	23	13	19	112	1,112	1,255	1,185	1,296	4,848
性器クラミジア感染症(女)	31	21	35	31	25	42	185	1,089	1,206	1,157	1,237	4,689
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	6	3	8		7	29	225	245	291	291	1,052
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	12	10	10	9	13	66	391	465	455	440	1,751
尖圭コンジローマ(男)	5	4	5	3		3	20	240	301	293	358	1,192
尖圭コンジローマ(女)	2	7	3	2	7	2	23	136	154	163	162	615
淋菌感染症(男)	7	16	5	7	4	3	42	537	626	613	652	2,428
淋菌感染症(女)	5	3	3	3	1	3	18	147	168	178	181	674
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1			1	28	40	36	61	165
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	24	28	33	19	17	135	1,126	1,228	1,118	1,189	4,661
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	16	15	16	58

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	20	0.67	5	0.17	6	0.20
賀茂								
熱海	2	2.00						
東部	10	2.00						
御殿場	4	4.00	5	5.00				
富士	6	2.00	4	1.33	1	0.33		
静岡市	18	3.00	4	0.67	3	0.50	3	0.50
中部	5	1.25	5	1.25			3	0.75
西部	10	2.00	1	0.20				
浜松市	6	1.20	1	0.20	1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			17	1.70		
賀茂			4	4.00		
熱海			3	3.00		
東部						
御殿場						
富士						
静岡市			6	3.00		
中部			2	2.00		
西部			1	1.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	-	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	-
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

\* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2022年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.73	1.23	1.83	1.80	1.27	2.03	2.24	2.50	2.39	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	0.57	0.60	0.43	0.60	0.30	0.67	0.63	0.72	0.76	0.74
尖圭コンジローマ	0.23	0.37	0.27	0.17	0.23	0.17	0.38	0.46	0.46	0.53
淋菌感染症	0.40	0.63	0.27	0.33	0.17	0.20	0.70	0.81	0.81	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.70	0.53	0.67	0.77	0.43	0.63	1.13	1.28	1.21	1.32
性器クラミジア感染症(女)	1.03	0.70	1.17	1.03	0.83	1.40	1.11	1.23	1.18	1.26
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.20	0.10	0.27		0.23	0.23	0.25	0.30	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.40	0.33	0.33	0.30	0.43	0.40	0.47	0.46	0.45
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.13	0.17	0.10		0.10	0.24	0.31	0.30	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.07	0.23	0.10	0.07	0.23	0.07	0.14	0.16	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.23	0.53	0.17	9.00	0.13	0.10	0.55	0.64	0.62	0.66
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.10	0.10	0.03	0.10	0.15	0.17	0.18	0.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0.10			0.06	0.08	0.08	0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.40	2.40	2.80	3.30	1.90	1.70	2.36	2.58	2.34	2.48
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.03	0.03	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

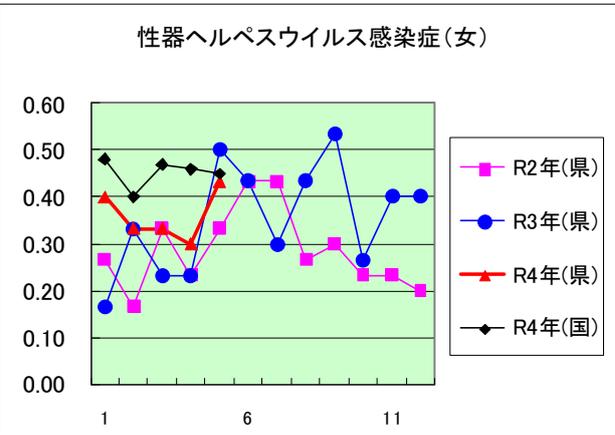
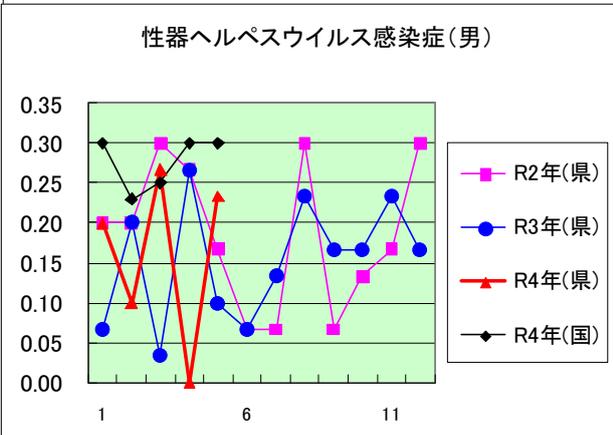
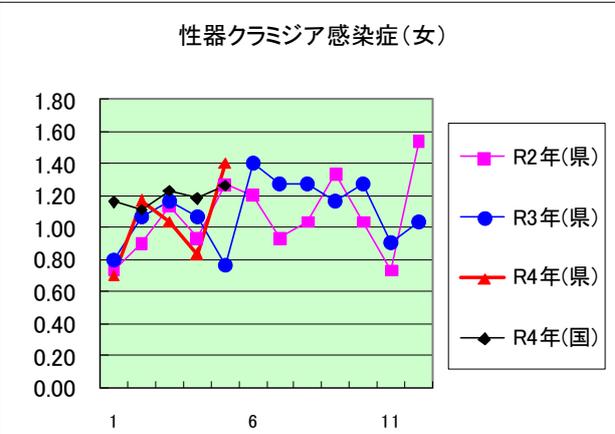
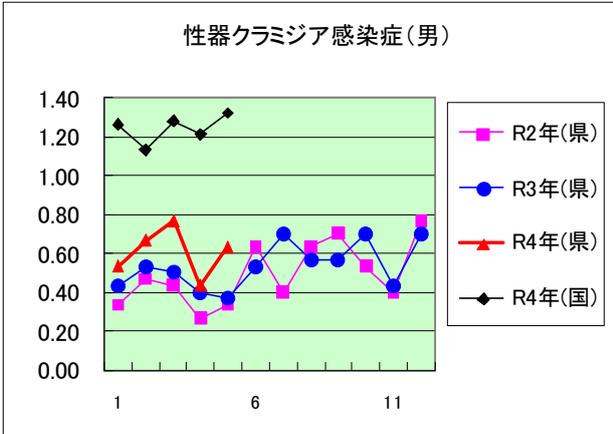
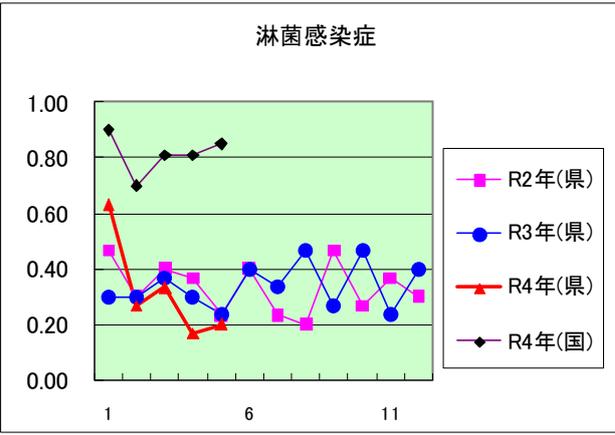
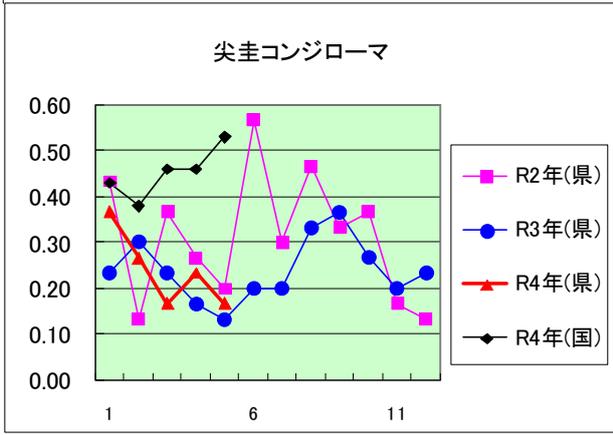
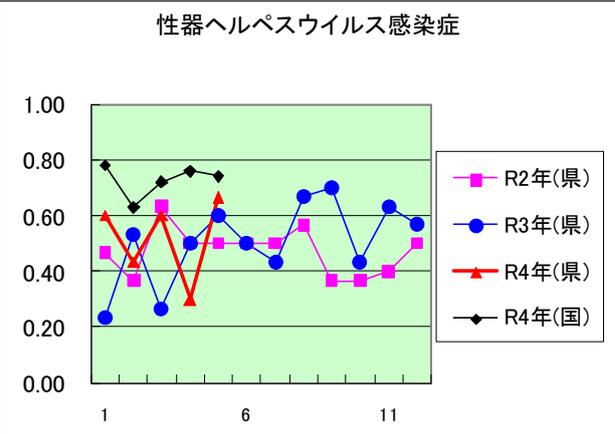
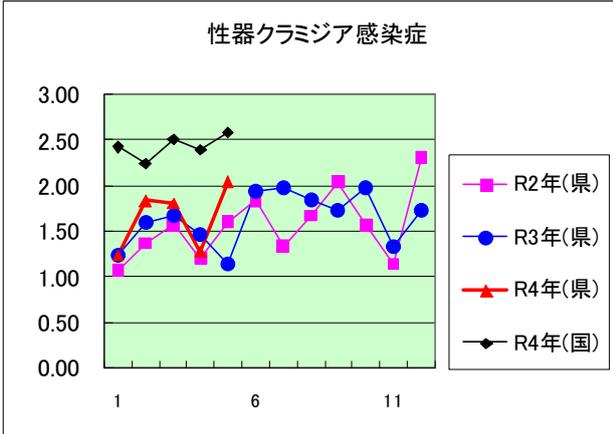
2022年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				1	3	22	17	10	6	1						1	61
性器ヘルペスウイルス感染症					1	1	4	4	3		1	1	2		1	2	20
尖圭コンジローマ							3	1							1		5
淋菌感染症						1	3			1			1				6
性器クラミジア感染症(男)						5	9	2	2							1	19
性器クラミジア感染症(女)				1	3	17	8	8	4	1							42
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							2		2			1	1			1	7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	4	1		1		1		1	1	13
尖圭コンジローマ(男)							1	1							1		3
尖圭コンジローマ(女)							2										2
淋菌感染症(男)							2						1				3
淋菌感染症(女)						1	1			1							3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1					1	2	1		12	17
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

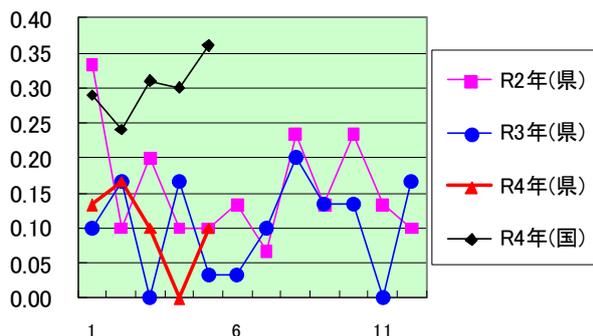
定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 5 月

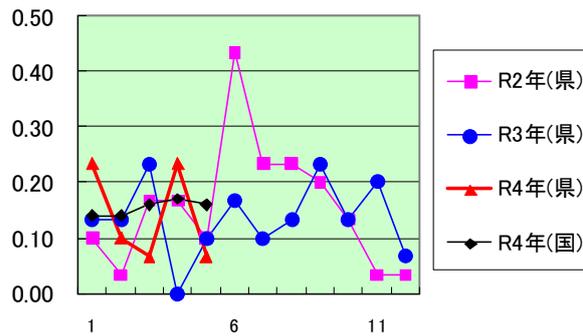
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				0.03	0.10	0.73	0.57	0.33	0.20	0.03						0.03	2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.03	0.13	0.13	0.10		0.03	0.03	0.07		0.03	0.07	0.67
尖圭コンジローマ							0.10	0.03							0.03		0.17
淋菌感染症						0.03	0.10			0.03			0.03				0.20
性器クラミジア感染症(男)						0.17	0.30	0.07	0.07							0.03	0.63
性器クラミジア感染症(女)				0.03	0.10	0.57	0.27	0.27	0.13	0.03							1.40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.07		0.07			0.03	0.03			0.03	0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		0.03		0.03		0.03	0.03	0.43
尖圭コンジローマ(男)							0.03	0.03							0.03		0.10
尖圭コンジローマ(女)							0.07										0.07
淋菌感染症(男)							0.07						0.03				0.10
淋菌感染症(女)						0.03	0.03			0.03							0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10					0.10	0.20	0.10		1.20	1.70
薬剤耐性緑膿菌感染症																	



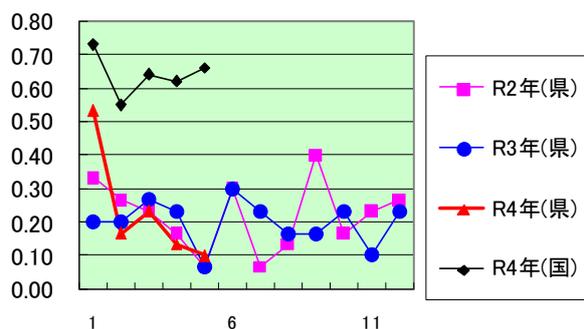
尖圭コンジローマ(男)



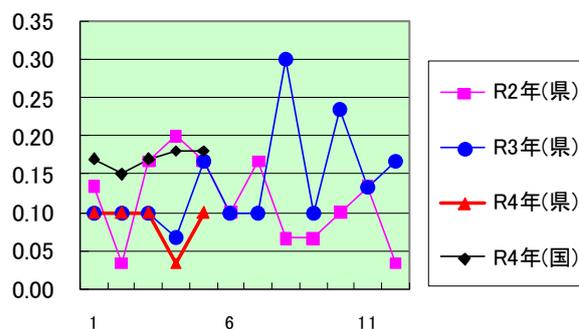
尖圭コンジローマ(女)



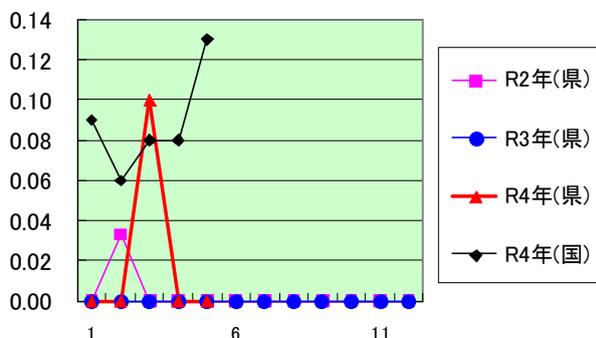
淋菌感染症(男)



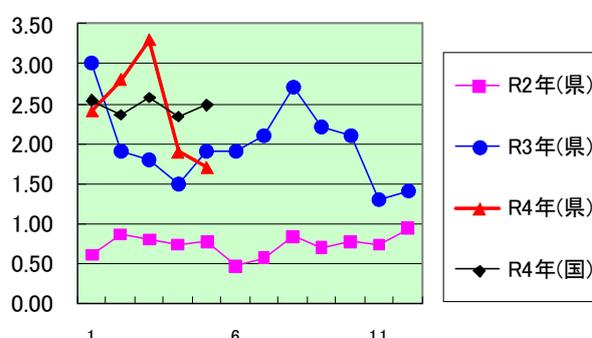
淋菌感染症(女)



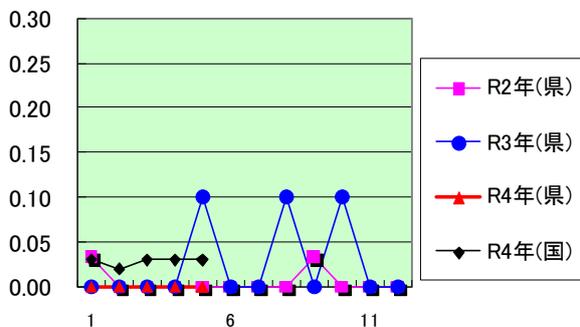
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



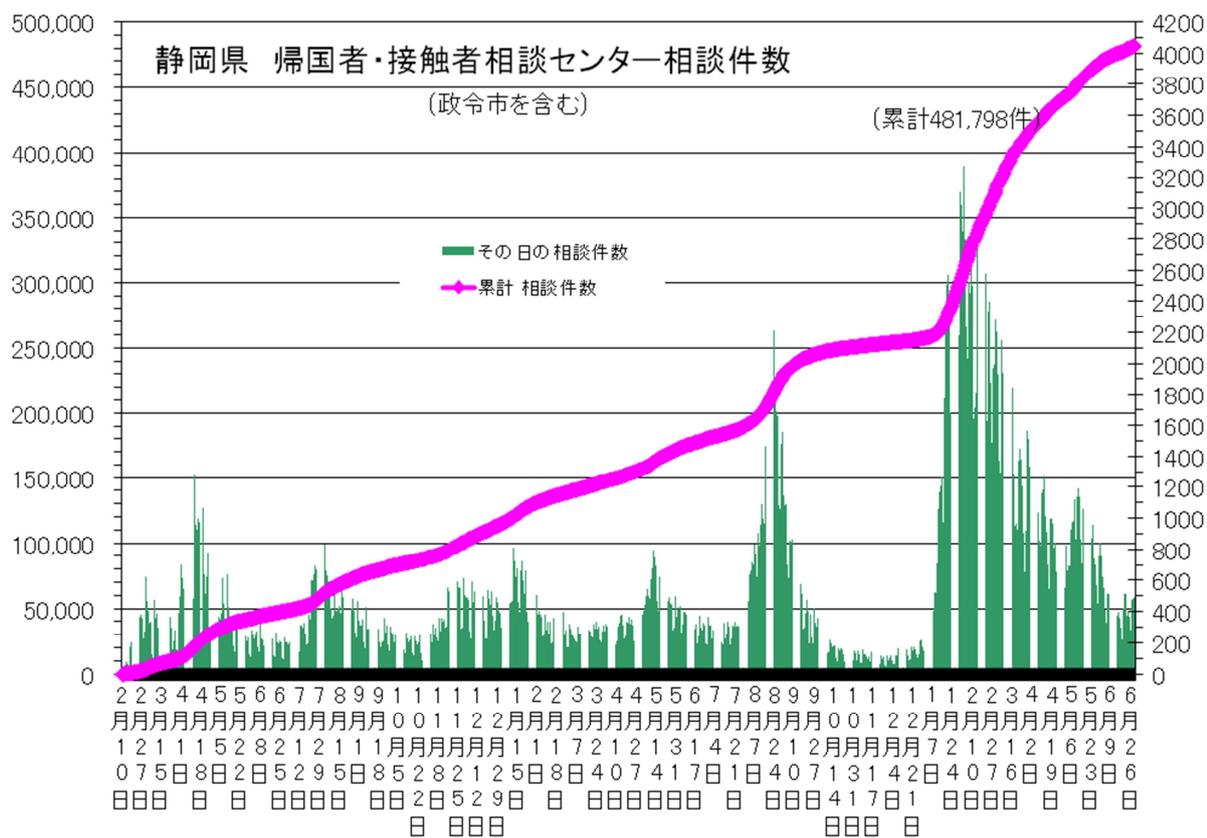
薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

新型コロナウイルスに関するPCR検査状況等（令和4年6月30日時点）

項目	PCR・抗原検査実施者数	1週間の検査実施者数	PCR・抗原検査陽性者数	1週間の陽性者数	1週間の検査陽性率
6月23日 木	2,303		305		
6月24日 金	2,277		261		
6月25日 土	1,165		279		
6月26日 日	901	13,822	230	1,962	14.2%
6月27日 月	3,191		114		
6月28日 火	2,357		371		
6月29日 水	1,628		402		

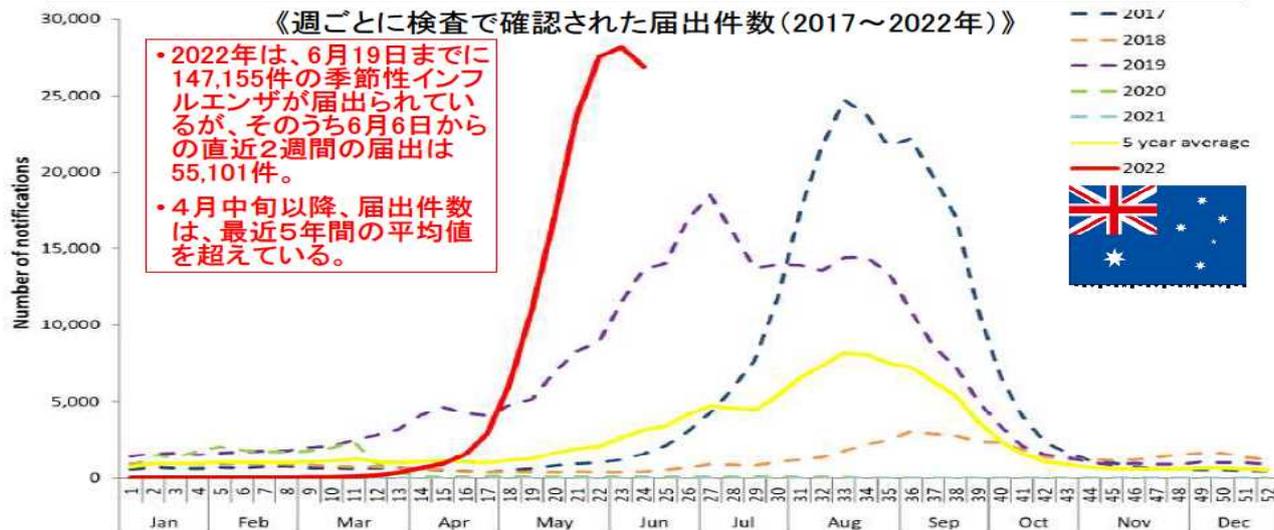


## 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《"Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022"のKey Messages》

活動性	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年のコミュニティでのインフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年3月以降増加している。</li> <li>2022年のこれまでに、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に147,155件が届出されており、そのうち55,101件の届出は6月6日から6月19日の2週間に診断された。</li> <li>2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認されたインフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。</li> </ul>
重症度	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ147,155件の届出のうち、54件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。</li> <li>2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は監視病院全体で989件報告されており、そのうち6.1%がICUに直接入院した。</li> </ul>
影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点では、2022年インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない。</li> </ul>
リスク集団	<ul style="list-style-type: none"> <li>2022年の現在までは、5~9歳、5歳未満そして10~19歳が最も高い届出率を示している。</li> </ul>
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の83.4%がインフルエンザAであり、そのうち94.8%がインフルエンザA(サブタイプ検査なし)、0.8%がインフルエンザA(H1N1)、4.4%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染であり、16.5%は型が分類されていない。</li> </ul>
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでにWHO協力センターに照会された1,041の検体のうち、インフルエンザA(H1N1)の98.8%、インフルエンザA(H3N2)の96.1%、およびインフルエンザB/ビクトリアは、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。</li> <li>今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。</li> </ul>

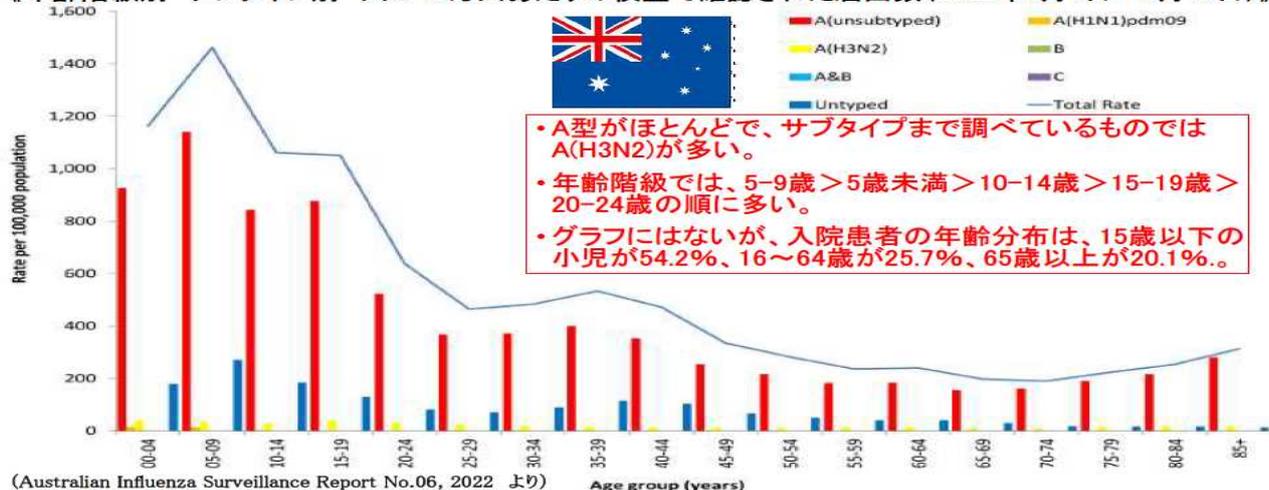
## 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)



(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022より)

## 南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/19時点)

《年齢階級別・サブタイプ別 人口10万人あたりの検査で確認された届出数(2022年1月1日~6月19日)》

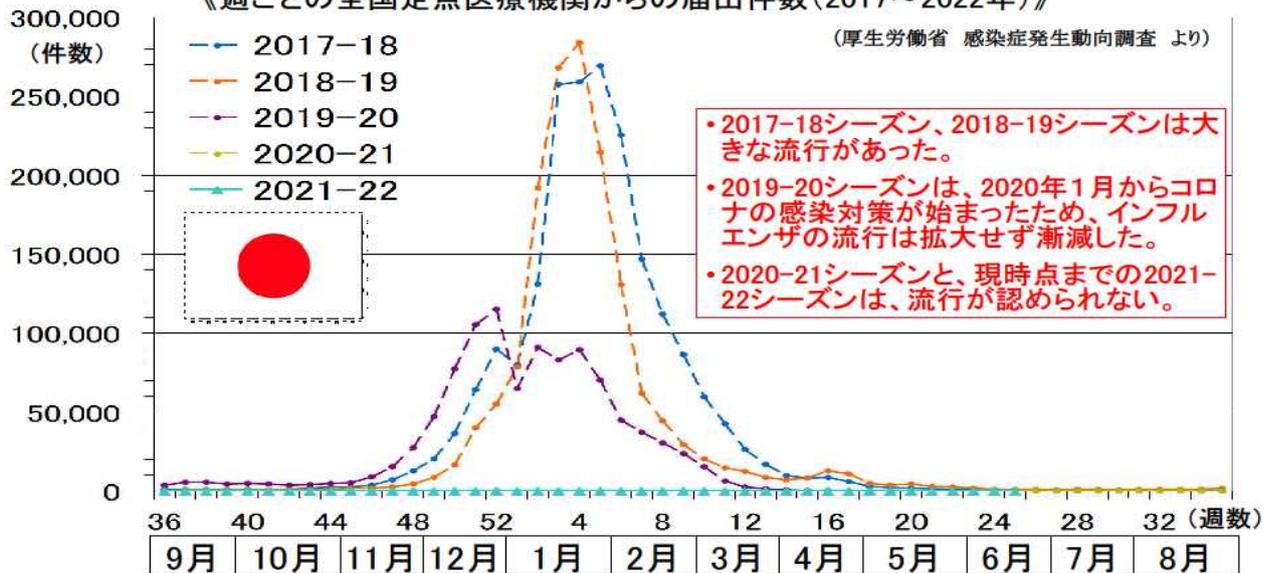


(Australian Influenza Surveillance Report No.06, 2022 より)

URL:[https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/\\$File/w.flu-06-2022.docx](https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/$File/w.flu-06-2022.docx)

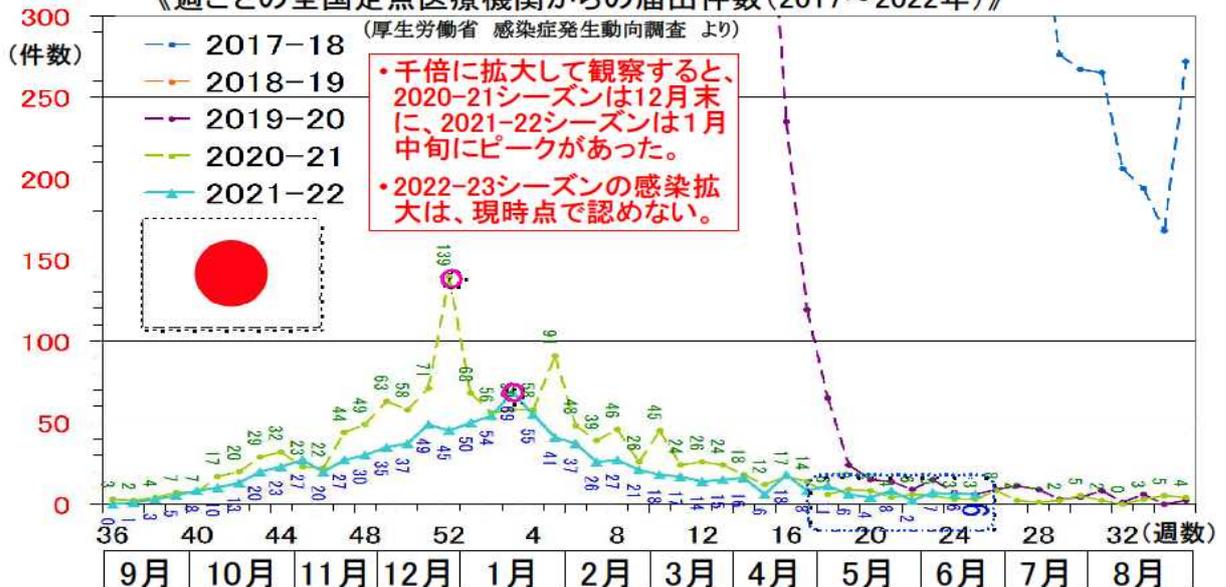
## 日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



## 日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/26時点)【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



- オーストラリアで季節性インフルエンザの急増が見られており、今冬は国内でも2019-20年シーズン以来3年ぶりに、インフルエンザが大流行する可能性が極めて高くなると思われます。
- 2017-18年シーズン以上の過去に例のない超大型流行になる可能性もあり、特に小児の患者が爆発的に増えることが心配されます。
- 例年の流行開始は11月頃ですが、今シーズンはもっと早くなる可能性もあります。
- インフルエンザワクチンの接種が開始されたら、小児や高齢者を中心にいつも以上にできるだけ早く接種してください。
- インフルエンザの感染対策は、新型コロナウイルス対策と全く同じ（マスク着用、手洗い、密を避ける）で大丈夫です。